集団訴訟弁護団の事務局として

私が勤務する法律事務所は、全国 B 型肝炎訴訟東京弁護団の事務局事務所の役割を担っている。

法律事務所職員
小池 奈佳子

集団訴訟における 他事務所の弁護士との関わり

東京弁護団の弁護団員は複数の事務所の弁護士で構成されており、B型肝炎訴訟に取り組んでから、他事務所の弁護士と関わる機会が増えた。

相談者から事務所宛に問い合わせが入っても、実際は東京弁護団宛の問い合わせであり、『法律事務所の弁護士の事務局』ではなく、『東京弁護団の事務局』という気持ちで業務にあたっている。そうすると、他事務所の弁護士とのやりとりも、他事務所の弁護士とのやりとりというより、『東京弁護団の弁護士と事務局』という形になってくる。

依頼者の方から問い合わせが入ったらそれを弁護士に伝えるのは事務局の役目である。ただ、それが他事務所の弁護士となると少し話が違ってくる。

単純な「電話が欲しい」程度ならば迷わず連絡するが、少し込み入った話になってくると、まず所内の弁護士に相談して所内の弁護士から連絡をしてもらう必要があったり、連絡一つにしても当初は結構戸惑うことがあった。当然のことなのかもしれないが、文字通り同じ弁護団の弁護士と事務局としての関わりは、普段の業務ではない貴重な経験である。

意外と知らない豆知識

他事務所の弁護士と多くなるのがメールでのやりとりだ。

普段依頼者の方にメールを送る際は、法律事務所では一般的な一太郎形式ではなく、Word形式で送るよう気をつけているが、全国弁護団とのやりとりをみていると意外と一太郎ではなくWordが多いことに驚いた。実は時

代はもうWordに移行していて私が取り残されていたけななのかもしれないが、様々なPC環境の弁護士がいることを考えてそうなのであろうと勝手に推測している。

多くの方とメールをやりとりする中で、メールが文字化けしていたら文字エンコードを変えてみるだとか、ファイルが開けない場合には、ファイル名に機種依存文字が含まれていないか確認することなどを学んだ。後者の例は、ファイル名が「山崎」なら開けるが、「山崎」なら開けないというケースである。人名は正確に書かなくては失礼だ、と思い機種依存文字を使ってしまうことがあるかと思うので、豆知識として覚えておいて損はないと思う。

一層の業務効率化を目指して

事務作業をしていて大活躍したのがエクセルである。

法律事務所に就職してすぐのころ、エクセルの表を手直しするという業務があった。もともと関数を少し勉強していたことや研修中で時間が有り余っていたこともあり、関数を使った表に直したところ、「すごいね、でも今後あまり使うことはないだろうね」といわれてがっかりした。事実、その後エクセルの出番はあっても関数を使うことはあまりなかったが、今回に限ってはエクセルが非常に役に立った。

かじった程度の知識だったので、ああでもないこうでもないで試行錯誤しながらではあったが、弁護士の希望通りの表が出来上がり、裁判所からも評判だったと聞いてとてもうれしかった。

集団訴訟は原告数が多く、業務量が多いだけに、より効率的に業務処理をし、迅速な和解に結びつけるためにも、試行錯誤と勉強の日々である。